

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 多賀 学昭
副会長 川上 幸子
幹事 坂田 師通

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
ホテル泉屋内 TEL・FAX 0983-21-1636

第2340回 令和7年4月24日プログラム

- | | |
|---------------|----------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 委員会報告 |
| それこそロータリー | 9. 点 鐘 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. |
| 4. 会長の時間 | 11. |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

高鍋ロータリークラブテーマ

『共に語り、共に栄え、共に未来への種を蒔こう』

第2730地区ガバナー 笹山 義弘

中部グループガバナー補佐 戸高 勝利

RI会長テーマ 『ロータリーのマジック』

第2730地区テーマ

『ロータリーのマジックで、ロータリーを楽しもう』

4月の月間テーマ

環境月間

本日の例会案内

*早朝例会&ロータリー公園清掃
7:00~8:00

次週5月1日(木)は特別休会です。

次回例会案内; 5月8日(第2341回)

*月初めのセレモニー *雑誌紹介

*新入会員卓話—齊藤弘泰君

*米山ランチBOX *終了後理事会

第2339回 例会内容 (4/17)

□会長の時間

会長 多賀 学昭 君

皆様、今日は。

本日も例会ご出席ありがとうございます。

昨夜は宮崎県の私立学校団体と宮崎県の私立学校主管生活文化課や子ども政策局の役職者の方々との懇談会、その後先月の音楽祭ヨーロッパ演奏旅行参加者のみなさんとの打ち上げがあり、いささか飲みすぎました。そして今日はこの例会が終わったらすぐに福岡県行橋市のお寺へと車で出かけ、明日その寺の法要でお説教を勤めて午後帰路について夕方6時にお通夜を勤めるというやや苛酷なスケジュールになっていて、「飲みすぎた身体で大丈夫かな」とちょっと心配です。今夜も向こうの住職が「久しぶりに一杯やるぞ。」と手ぐすね引いて待っている筈ですから。昨夜の私学関係者懇談会では偶々『宮崎ペットワールド専門学校』の坂元校長先生と同席になってお話を伺いましたが、愛玩動物看護師というのが国家資格を必要とする職業になったので、その法整備の打ち合わせや事情説明のために何十回も衆議院議員会館に通ったが、地下鉄から議員会館まで専用の通路が設けられてい



たり、なにしろ設備が立派でびっくりしたという話やら、宮崎総合学院理事長の川越宏樹さんがかつて国政選挙に立候補された時の話を振ったら「実はその時の選挙の事務局長は私がさせられてそりゃあ大変でした。」というご返事で、「選挙になるとその道のプロみたいな方が次々にこられて『〇〇関係の票を〇百票まとめてあげるから〇十万準備してくれ。』とか要求されるのを断るのに苦労しました。あちこち選挙があるたびに渡り歩いて生活している方々が本当にいらっしゃるんですね。」「でも切羽詰まって藁にも縋る思いで票の取りまとめを依頼して落選後に選挙違反で捕まるケースが多いわけが良く分かりました。」と述懐しておられました。私も川越理事長さんから直接「多賀さん、もう選挙はこりごりじゃ。裏を知るとあんげな汚いもんは無いわ。」と聞いたことがあります。

そのあと宮崎日大学園理事長の山本圭吾さん(小生の昔の合唱仲間で東大在学中は「アカデミーコール」という男声合唱団で歌っていた由)とお話していたら「多賀君、今度うちの中学校に君たちモーツァルトフェスト合唱団の指揮者の児玉先生が音楽教諭で来てくれて、校長が『良い先生が来てくれた』とすごく喜んでいただ。これでうちの中学校も全国大会が狙えるな。」とエライ鼻息でした。児玉先生は確かうちの川上副会長と高校の音楽部でいっしょだったと思います。(「私が一級下です。」との声あり。)何にしても大変うれしく思いました。

さて、会長の任期も終わりが近づいてだんだん話のネ

タが無くなって苦しくなっていました。今日も坊主ネタで恐縮ですが四十九日のお話を少ししてみたいと思います。亡くなられてから四十九日までの期間を中陰と呼びますが、これは陰と陽の中間、俗にいう「あの世」と「この世」のまだ途中というような意味合いです。現在亡くなられる方は病院や施設で長期に療養されて息を引き取るケースがほとんどですが、昭和50年代初めぐらいまでは、お家で療養されて臨終を迎えるケースもけっこうあったと記憶しております。私の祖父もお寺の座敷で息を引き取りましたが、直前まで大変元気でした。ただお酒が好きで、最晩年にどこからか「ニンニク焼酎とクコ焼酎が身体によい」という話を聞いてきて早速檀家さんに「これから法事のお供えは焼酎にしない」とお触れを出して、座敷いっぱい焼酎が集まって来たので、自分でニンニクとクコを漬けて込んで朝の5時過ぎからチョコチョコ飲んでおりました。ニンニク臭いのと焼酎臭いので閉口しましたが、あっという間に糖尿を悪くして三日ばかり寝込んで死んでしまいました。葬儀が終わって茶毘に付し、何週間か後に檀家葬が行われましたが、平生元気だったせいか頭では「祖父は亡くなった」と分かっているのですが、何かのはずみに襖を開けて祖父が「オイ」と出てくるような気がしてなりません。身体が分からないのです。

五週間たち、六週間たち、四十九日が近づく頃になってやっと「ああ祖父はいなくなったのだなあ。」とやっと身体が納得したような感じでした。人の死は点ではありません。身近な人の死を受け入れるには時間がかかるのです。昔は四十九日まで七週間、七日ごとにお参りに行きました。昼間は皆仕事がありますから七日七日の忌日の前夜ごとにお参りに行くと、ご近所の方やご親戚の方が集まって一緒に拝んでくださいます。そのあとお茶を飲んだり時には一杯飲んだりしながら思い出話をしたり、今後の生活について相談したりします。今考えてみると立派なグリーフケアです。そうやって悲しみを分かち合いながら身近な人の死を受け入れ、今後の生活を立て直す相談をしていたわけです。今日コミュニティーの力も衰え、親戚づきあいも昔のようではなくなって孤立して生活するケースが増えてきました。

ロータリークラブの皆さんは社会の中核としてこのような状況の改善を工夫してくださるとありがたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

□幹事報告<文書案内>

*中部グループ(現・次期)

会長幹事会のご案内

日時 令和7年6月18日

18:30~

場所 ニューウェルシティ
宮崎

*2025-26年度クラブリー
ングファシリテーター選任
のお願い(CLF)

*町観光協会移転のお知らせ(7/4より高鍋駅舎内へ)

幹事 坂田 師通 君



□会員卓話

岡島 達雄 君

まず、今回30分間もの卓話の機会を与えていただいた後藤プログラム委員長にお礼を申し上げます。

私は今年85才。数年前新入会員の研修で夕方6時頃からこの演台の前に立って話している時、同じ会場にいらした



坂田先生が私に異常を感じられ、西都の救急病院にタクシーに同乗して送り届けていただいたことを思い出します。この数時間の記憶が、その日はもちろん翌日以後も全く思い出せないのです。「一過性全健忘」だったそうです。以後、ロータリーの夜間や早朝の会合には参加していません。本日は、昼間の例会ですが、またご迷惑をおかけしないか心配です。

坂田先生は内科の専門医として坂田病院の副委員長として、今では私の主治医をしていただいております。お名刺によると先生は医学博士の学位もお持ちです。本日は、「博士」にまつわる話が多いですが会員各位におかれましても博士にご関心をお持ちいただければ幸いです。

今日は4月17日(木)、万事に凶といわれる仏滅です。

多賀会長こういう日はどのようにお過ごしですか?

ところで、児湯郡、この地区はお話のうまい方が多いですね。かつて議会議長を勤められた長濱さんは格別。その理由はロータリーに入会する前に、倫理法人会や青年会議所などで鍛えられるからだそうです。齊藤さん中岡さん今でもそうなんですか。そしてそれは黒木さんが大きく貢献してこれたと橋口さんから聞いたことがあります。私が入会した頃、ガバナーが宮崎出身の場合、地区の多くの委員会は宮崎観光ホテルで行われていました。その時の時間待ちで、橋口さんから伺った話です。宮崎観光ホテルでは県を越えて多くのロータリアンと知り合いになりました。我がクラブももうすぐ50周年。地区の委員会に多くの若い会員を送りこみたいものです。藤本先生に期待するしかありません。

さて、高鍋クラブに入会して、早や20年近くが経ちました。会員の入れ替わりも多いので、ここで改めて自己紹介をさせていただきます。私は、父の仕事の関係で中国で生まれ、現地で育ちました。戦後帰国、幼稚園から高校まで阿波踊りの国、徳島で育ちました。以後東京工業大学、いや昨年東京医科歯科大学と合併して、今は東京化学大学となりましたが、学部4年間、大学院5年間、合計9年在籍し、工学博士の学位を得ました。この9年間、まことに良く学び、よく遊びました。柔道、ボート、登山、スキー、ヨット、それに社交ダンス等々。身体を動かすことが好きだったようです。博士の学位を得ると同時に国立名古屋工業大学の建築学科講師に迎えられ、翌年助教授、そして教授、教授併任学生部長、1年後選挙で学長に選ばれました。55才でした。国立大学協会に行くと再若年。

大学長のほとんどが教授定年の63歳前後でした。学長に当選して間もなく前任学長を表敬すると「大学の運営については一緒にやってきたので、特に言い残すことはない。それよりロータリーに入れ」当時、前任学長は、名古屋昭和ロータリークラブの副会長だったのです。入会は一声で決まり、私はあこがれのロータリアンとなれて大変嬉しかったのを覚えています。学長室を出て例会から戻るまでは業務と認められて公用車のセンチュリーも使えたので、約90分しかかからない。いいかえればそれほどこき使われました。会費はもちろん個人持ちです。

学長になっての最初の仕事は、国立大学工学系学長会議でした。総務部長が言うには「宮崎市のシーガイアホテル2泊3日、明日9時にご自宅に迎えに行かせる。航空券は運転手に持たせる。奥さんと一緒に」確かに当時の宮崎大学長は機械工学部ご出身の二神光次先生、会議の主要テーマは、いかにして工学部の学生定員を増やすかでありました。この二点医学部学長会議のテーマは、我々と真逆でいかにして医学部の学生定員を減らすかであり両学部の国立大学協会のテーマは分裂していました。

さて、これからお話しするのは、いずれも過去の私のスピーチ2題についてです。共通するのはいずれも5千人を超える観客というか傍聴、スピーチの終盤でのスタンディングオベーション。最初の話題は中国での中国語の演説、第二話は米国での英語による演説です。

では第一話 宮崎から帰ってきて間もなく、研究協力課長から「中国の西安に行ってくれないか。西安輕工業大学長から創立45周年記念式典に出席し、祝辞を賜りたいと言ってきている。西安とは昔の長安、中国の漢、隋、唐王朝の首都、シルクロードの起点でもある。同大学から我が大学に10数目の博士課程の学生を受け入れ、その大半が工学博士の学位を取得し、帰国後同大学の要職を占めているらしい」と言って、本学の学位取得者の名簿などを渡された。さて、式典会場に行くと大勢の学校関係者が待っていました。元々中国の学生数は多いのに、その日は、創立記念日ということで大斜面に全学年の院生、学生、付属の高校・中学・小学校の生徒、幼稚園児とその家族達です。優に1万人は越えていると思われました。式典会場に到着すると、名工大で学位をもらったという学位保護者が演説に協力したいと集まっていました。私は、かねてより準備していた短い演説の草稿のコピーを関係者に配布、「これを手分けして中国語に訳してほしい。そして、その中国語文にルビやアクセント記号を付けてくれるよう要請しました。当時日本への留学生には学生論文を日本語で書くよう指導していましたので、その訓練を受けたことのある彼らはスムーズに翻訳ができます。私は短い祝辞をドイツ語と中国語で読み上げたのです。やがてものすごい拍手と歓声の音が聞こえてきました。まさにスタンディングオベーション。少し静かになったところで・・・

実は上海の近くの工業都市 鎮江出身です。レンガ造り3階建ての中国の病院で生まれました。父の仕事の関係で父母と中国にいました。というと2回目のスタンディングオベーション。いつまでも終みませんでした。

さて、第二話です。2008年17年前の4月17日。奇しくも同じ木曜日でした。仏滅だったかどうかはわかりません。私はその時間、米国ジョージア州のアトランタ動物園で、たしかパンダと対話していました。ハナミズキの咲き誇るアトランタは春爛漫。日本の桜のシーズン、まさに今ここと酷似していました。この宵、私は、Sandy Springs RC でDinner をいただきスピーチをしたようです。

当時RIにはGSE (Group Study Exchange) グループ研究交換というプログラムがあり、我が2730地区とアトランタ周辺の6900地区との間で協定が結ばれ、私が20代の若者4名のチームリーダーとして彼の地にいました。

これに先立つこと半年前には2007年10月延岡総合文化センターの地区大会にはインバウンドのチームが来訪していました。

当時の東国原知事も駆けつけてくれました。訪問したグループは、先方の地区大会で交流お互いにプレゼンテーションをすることになっていました。28日間の訪問中、22日は先方のロータリアンの家にホームステイ。家族同様の生活をするので旅行では得られない貴重な体験ができます。また6900地区の会員は当時4800人で世界最大の規模、地区大会にはほぼその全員が参加するというほど楽しい会です。いよいよ地区大会でのスピーチです。この日は、国際交流ということで、全員着物姿で壇上に立ちました。民族衣装というのは強い味方ですね。

スピーチの内容です。今回もの訪問で私は米国がいかに大きな国が認識しました。道路も公園も広くてよく整備されている。車も建物も何もかも大きくよく整備されて便利でメンバー一同圧倒されています。

しかし、例外もないではありません。それは、我が国のウォシュレットシステムです。

Sit on the stool Do and push the Button That's All Everything went well wira Music

まさにスタンディングオベーション ものすごい割れんばかりの拍手。全員総立ちに。数分経って

再びスタンディングオベーション 止まらない。

この時のCDが後日送られてきたのですが紛失してしまいました。誠に申し訳ありません。



ロータリーの友 雑誌紹介
広報雑誌 IT 委員長 近藤真司君

□BOX披露 親睦活動委員長 高橋 康朗 君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

【多賀学昭君】一昨日から飲みすぎております。懺悔の思いを込めて。

【藤本範行君】近藤さんの雑誌紹介それに久し振りの岡島先生の卓話を楽しみにしています。



□出席報告

委員長 児玉 幸則 君

出席状況報告 (4/17)

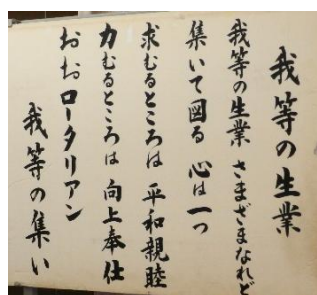
会 員 数	40 名
出席 会 員 数	28 名
ホーム出席率	71.79%
修正出席率	76.92%



ソングリーダー 橋口君



テーブルの花



本日のソング



本日の食事

ロータリアンの行動規範

ロータリアンが使用するために次の行動規範が採択された。

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する

「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1. 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3. ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか